

特定まちづくり施設設置工事協議項目表
 (バリアフリー法・条例第5章の規定の適用**対象外**建築物用)

建築物の名称	
建築物の所在地	

整備基準

1 一般基準

各整備箇所(「すべての人が利用しやすい経路」上のものを含む。)に共通に適用される基準です。

整備項目	整備基準	記入欄	審査
------	------	-----	----

廊下等			
表面		粗面、滑りにくい材料仕上げ	仕様:
注意喚起	場所	階段の上端の廊下等に点状ブロック等	有 無
階段			
手すり		設置	有 段鼻からの高さ() cm 無
表面		粗面、滑りにくい材料仕上げ	仕様:
段	識別性	色の明度差が大きい等	仕様:
	構造	つまずきにくい	段鼻の突き出し: 有 無 蹴込板: 有 無 蹴込寸法: 2 cm以下 2 cm超え
注意喚起	場所	階段の上端の踊場に点状ブロック等	有 無
主たる階段		回り階段としない	回り階段: 有 無
傾斜路			
傾斜路	手すり	勾配 > 1/12、又は高さ > 16cmの傾斜部分に設置	有 無
	表面 識別性	粗面、滑りにくい材料仕上げ 色の明度差が大きい等	仕様: 仕様:
便所			
床の表面		滑りにくい材料仕上げ	仕様:
車いす使用者用便房	設置数	1以上(男女区別あるとき それぞれ1以上)	設置数: 共用() 男子() 女子()
	便座	腰掛便座	有 無
	手すり	設置	有 無
	広さ	車いす使用者の円滑な利用に十分な空間	() cm × () cm
	出入口の幅	80cm以上	幅() cm
	出入口の戸	引き戸(構造上困難 外開き戸)	引き戸 外開き戸 その他()
	標識	前後に高低差なし 掲示	高低差: 有 無 有 無
洗面器等の水栓		レバー式、光感知式等を1以上設置	レバー式 光感知式 その他()
1以上の小便器		手すりが配置された床置き式、壁掛式(受け口の高さが35cm以下)その他類する構造	手すり: 有 無 床置き式 壁掛式(受け口の高さが35cm以下) その他()
子育て支援設備	ベビーチェア等	1以上(男女区別のある便房に設けるととき それぞれに1以上) 標識を掲示	設置場所(設置数): 車いす使用者用便房() 男子便所() 女子便所() 有 無
	ベビーベッド等	1以上 標識を掲示	設置場所(設置数): 車いす使用者用便房() 男子便所() 女子便所() その他() 有 無
敷地内の通路			
表面		粗面、滑りにくい材料仕上げ	仕様:
段を設ける場合	手すり 識別性	設置 色の明度差が大きい等	有 無 仕様:
	構造	つまずきにくい	段鼻の突き出し: 有 無 蹴込板: 有 無 蹴込寸法: 2 cm以下 2 cm超え
傾斜路	手すり	勾配 > 1/12、又は高さ > 16cmかつ勾配 > 1/20の傾斜部分に設置	有 無
	識別性	色の明度差が大きい等	仕様:

駐車場			
車いす使用者用駐車施設	設置数	・全駐車台数50台以上 1以上 ・全駐車台数100台以上 2以上	全駐車台数() 設置数()
	幅	350cm以上	幅()cm
	表示	設置	有 無
	位置	2の の経路が短くなるように	適 否
浴室等			
床の表面		滑りにくい材料仕上げ	仕様:
車いす使用者対応の浴室等	設置数	1以上(男女区別あるとき それぞれ1以上)	設置数: 共用() 男子() 女子()
	設備	浴槽、シャワー、手すり等を適切に配置	適 否
	広さ	車いす使用者の円滑な利用に十分な空間	適 否
	出入口の幅	80cm以上	幅()cm
	出入口の戸	自動又は車いす使用者が容易に開閉して通過できる構造 前後に高低差なし	適 否 高低差: 有 無
客席			
車いす使用者用区画	設置数	全客席数×1/200 以上 (2未満 2、10超 10)	全客席数() 設置数()
	1区画の広さ	幅85cm以上、奥行き120cm以上	幅()cm、奥行き()cm
	区画の床面	高低差なし	高低差: 有 無
	区画への通路	幅120cm以上	幅()cm
	通路の高低差	傾斜路を設置	高低差: 有 無 傾斜路: 有 無

2 すべての人が利用しやすい経路

右に掲げる経路を構成するものについて記入してください。

、 について、利用居室等がない場合は、「利用居室等」を「道等」と読み替えてください。

道等～利用居室等

車いす使用者用便房～利用居室等

車いす使用者駐車施設～利用居室等

整備項目	整備基準	記入欄	審査
出入口			
建築物の出入口	幅	80cm以上	幅()cm
	戸	自動又は車いす使用者が容易に開閉して通過できる構造	自動 手動 取っ手: 棒状 押板 しゃ その他()
		回転形式としない 前後に高低差なし	回転形式: 有 無 高低差: 有 無
主要な出入口	経路を構成する地上階の出入口の1以上は主要な出入口とする	適 否	
居室の出入口	幅	80cm以上	幅()cm
	戸	自動又は車いす使用者が容易に開閉して通過できる構造	自動 手動 取っ手: 棒状 押板 しゃ その他()
		回転形式としない 前後に高低差なし	回転形式: 有 無 高低差: 有 無
廊下等			
一般基準への適合	一般基準に適合するものであること	適 否	
幅	120cm以上	幅()cm	
車いす転回部分	50m以内毎に設置	有 無	
戸を設ける場合	自動又は車いす使用者が容易に開閉して通過できる構造	適 否	
	前後に高低差なし	高低差: 有 無	
高低差がある場合	傾斜路又はエレベーターその他の昇降機を併設	高低差: 有 傾斜路 無 傾斜路 その他()	
傾斜路			
傾斜路	一般基準	一般基準に適合するものであること	適 否
	手すり	設置	有 無
	幅	120cm以上(階段に併設 90cm以上)	幅()cm 階段に併設
	勾配	1/12以下 (高低差16cm以下 1/8以下)	勾配() 高低差()cm
	踊場 起点終点	高低差75cm以内毎に踏幅150cm以上 車いすが停止可能な平坦部分を設置	踏幅()cm 有 無

エレベーター			
停止階		利用居室等、車いす使用者用便房、車いす使用者用駐車施設がある階及び地上階	利用居室（住戸、客室）のある階 車いす使用者用便房のある階 車いす使用者用駐車施設のある階 地上階
かご	出入口の幅	80cm以上	幅（ ）cm
	奥行き	135cm以上	奥行き（ ）cm
	車いす使用者用操作盤	利用しやすい位置に設置 ・戸の開放時間延長 ・かごの位置表示 ・インターホン	床面からの高さ（ ）cm 戸の開放時間延長 かごの位置表示 インターホン
	操作盤（上記以外）	点字表示	有 無
	表示装置	停止予定階・現在位置	停止予定階 現在位置
	音声装置	・到着階及び戸の閉鎖 ・昇降方向（かご又は乗降ロビー）	到着階 戸の閉鎖 昇降方向
	鏡	設置	有 無
	戸の閉鎖制止装置	感知式	有 無
乗降ロビー	手すり	左右両側に設置	有 無
	高低差	高低差なし	高低差： 有 無
	広さ	幅及び奥行き150cm以上	幅（ ）cm 奥行き（ ）cm
	車いす使用者用操作盤	利用しやすい位置に設置 ・戸の開放時間延長	床面からの高さ（ ）cm 戸の開放時間延長
	操作盤（上記以外）	点字表示	有 無
	表示装置	昇降方向	有 無
特殊な構造・使用形態の昇降機			
段差解消機		・H12建設省告示第1413号第1第7号 ・かごの床面積0.84㎡以上 （乗降方向に応じて十分に確保）	適 否 かごの床面積（ ）㎡
車いす使用者用エスカレーター		H12建設省告示第1417号第1号ただし書き	適 否
敷地内の通路			
一般基準への適合		一般基準に適合するものであること	適 否
幅		120cm以上	幅（ ）cm
車いす転回部分		50m以内毎に設置	有 無
戸を設ける場合		自動又は車いす使用者が容易に開閉して通過できる構造	適 否
		前後に高低差なし	高低差： 有 無
高低差がある場合		傾斜路又はエレベーターその他の昇降機を併設	高低差： 有 傾斜路 エレベーター その他（ ） 無
			無
傾斜路	手すり	設置	有 無
	幅	120cm以上（段に併設 90cm以上）	幅（ ）cm 段に併設
	勾配	1/12以下 （高低差16cm以下 1/8以下）	勾配（ ） 高低差（ ）cm
	踊場	高低差75cm以内毎に踏幅150cm以上	踏幅（ ）cm
	起点終点	車いすが停止可能な平坦部分を設置	有 無

3 視覚障害者が円滑に利用できる経路

整備項目	整備基準	記入欄	審査
誘導が必要な経路	次のいずれかの経路の1以上 ・道等～案内設備 ・道等～建築物の主要な出入口	道等～案内設備 道等～建築物の主要な出入口	
誘導方法	視覚障害者誘導用ブロック等、又は音声その他	視覚障害者誘導用ブロック等 音声誘導装置 その他（ ）	
注意喚起	場所	誘導経路を構成する敷地内通路の次の部分に点状ブロック等 ・車路に近接する部分 ・段の上端	車路に近接する部分 段の上端

整備誘導基準

整備項目		整備誘導基準	記入欄	審査
オストメイト対応 便所	設置数	1以上（男女区別あるとき それぞ れ1以上）	設置数（ ）	
	設備	フラッシュバルブ式汚物流し等を適 切に配置	汚物流し パウチ洗浄水栓 給湯設備 荷物置き等の棚等 水石鹸入れ ペーパーホルダー 汚物入れ その他（ ）	
	標識	掲示	有 無	
車いす使用 者用客室	設置数	1以上	設置数（ ）	
	便所	腰掛便座	有 無	
		手すり設置	有 無	
		車いす使用者の円滑な利用に十分な 空間	() cm × () cm	
		出入口の幅80cm以上	幅() cm	
		出入口の戸は自動又は開閉容易	良 否	
	浴室等	戸の前後に高低差なし	高低差： 有 無	
		浴槽、シャワー、手すり等を適切に 配置	良 否	
		車いす使用者の円滑な利用に十分な 空間	良 否	
		出入口の幅80cm以上	幅() cm	
出入口の戸は自動又は開閉容易		良 否		
戸の前後に高低差なし	高低差： 有 無			
授乳場所	設置数	1以上	設置数（ ）	
	設備	ベビーベッド、いす等を適切に配置	ベビーベッド いす 流し台 洗面台 荷物置き その他（ ）	
	標識	掲示	有 無	
避難口誘導灯	点滅機能及び音声誘導機能	点滅機能 音声誘導機能		
集団補聴設備	磁気ループ等を設置	磁気ループ（ 敷設 携帯型 ） 赤外線送受信装置 その他（ ）		

【備考】

整備項目	整備基準への適が困難な理由等	代替措置等	審査

注

- 1 記入欄（太枠内）に必要な事項を記入し、また、該当する項目にチェックしてください。
- 2 複数の整備項目がある場合は、最も条件の厳しいものについて記入してください。
（例1：出入口や廊下等の幅 最小のものの数値 例2：傾斜路の勾配 最大のものの数値）
- 3 備考欄には、整備基準への適が困難な場合や、整備基準に代わりそれと同等以上の措置を取ろうとする場合に記入するほか、適宜活用してください。
- 4 審査欄には記入しないでください。